

学習プログラム「ウサギの誕生」 事前研修資料

〈引率される先生方へ〉

- ・このプログラムは飼育員と引率される先生で実施するプログラムです。安全のため飼育員とともに子どもたちへ動物との接し方をご指導願います。
- ・ただ動物を触る体験だけで終わるのではなく、命を感じてもらい、動物に対する思いやりや、興味・関心を引き出せるプログラムです。先生方の声かけで、子どもたちの動物の見方も大きく変わります。ご協力をお願いいたします。

〈当日の流れ〉

プログラム名	「ウサギの誕生」
対象動物	ウサギ
対象者	未就学児～小学校低学年
時間・場所	約 30 分・ふれあいの丘 ふれあい館多目的室
目的	<ul style="list-style-type: none">・動物の特徴や生まれてから成長するまでの様子について学ぶ。・動物が活着ているということを実感してもらう。
具体的な活動内容	<p>導入（5分）</p> <ul style="list-style-type: none">・ウサギはどんな赤ちゃんを生むと思うか考える・ウサギの誕生・成長の様子を、動画を見ながら解説を聞く <p>観察（10分）</p> <ul style="list-style-type: none">・ウサギを観察する際の注意事項を聞き、チームごとに観察する・ウサギをなでて、感触や温かさを体感する <p>心音を聴く（10分）</p> <ul style="list-style-type: none">・聴診器を扱う際の注意事項を聞く・聴診器で自分の心音を聴き、その後ウサギの心音を聴く <p>振り返り・まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none">・観察・心音を聴いてどうだったか聞くからだの大きさによって心音の速さも違うこと、小さいけれど、みんなと同じように活着ているということ伝える。・活動の感想や質問を発表する

〈事前準備〉

- ・子どもの数に応じて、最大6グループに分かれて着席して頂きます。子どもたちがスムーズに移動できるよう、事前のグループ分けにご協力ください。
- ・動物に直接触れる活動です。アレルギーのある子どもたちの参加については、保護者の方とご相談の上、参加していただきますようお願いいたします。マスク等が必要な場合は学校側で準備をお願いいたします。また、アレルギーのある子どもがいる場合は、プログラム開始前に職員にお知らせください。

〈ウサギのふれあいにおける注意点〉

飼育員も注意しながら実施しますが、引率される先生もふれあいの注意点を把握していただき、一緒に子どもたちの誘導をお願いします。

①観察時

- ・ウサギは小さなカゴに入れ、テーブルに置いた状態で観察します。
- ・ウサギを持ち上げて観察する時は、飼育員が対応します。
- ・ウサギの体にはふしぎが沢山あります。よく観察することを促してください。

②触る時

- ・ウサギはとても怖がりな動物です。周囲で大きな声を出したり、ウサギをつかんだり、叩いたりしないよう注意してください。
- ・高い所から落ちるとウサギがケガをします。ウサギはカゴの中でさわります。
- ・ウサギの背中を、頭からお尻へ毛並みに沿ってなでましょう。
- ・ウサギの口元に手を持っていくと、噛まれることがあります。
- ・ウサギに触れていると、あたたかさを感じます。心臓が動いていて、体温があり、呼吸し生きていることを実感できます。ただ触るのではなく、ウサギも生きており、気持ちがあることを意識できるような声掛けをお願いします。

③心音を聴く時

聴診器のあて方



(1) 耳にしっかり聴診器をつける。

(2) 聴診器の先をウサギの胸（両前足の間）にぴったりとくっつける。

- ・ カゴの中でウサギの前足を少し持ち上げて、ウサギの胸に聴診器をあてます。
- ・ ウサギの口の前に手がいかないように注意してください。
- ・ 聴診器の使用中は、周囲で遊ばないように注意してください。聴診器は音が拡大されて聞こえるので、机などにぶつけないように十分注意してください。

〈補足〉観察のポイント（プログラム内で飼育員が解説します）

鼻 ぴくぴく動かし、
においを嗅ぎとります。

歯 全部で 28 本。一生
伸び続けます。鋭い歯で
草を噛み切って食べます。

前足 太くて短く、
巣穴を掘るのに適しています。

足の裏 肉球がなく、ふかふかの毛が生えています。

耳 長いのは、集音と体温調節をするためです。血管の色が透けてうすピンク色に見えます。緊張している時は耳が立ちます。リラックスしている時は耳を寝かせています。

目 顔の横についていて、視野はほぼ 360 度です。

しっぽ よく見ると丸いポンポン
ではありません。

後ろ足 前足に比べて大きく、地面をけて
跳ねながら移動します。



プログラムのサポートをお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお尋ねください。

それでは、当日のご来園をお待ちしております。

八木山動物公園 普及調整係